

Check3

ち

ちゅう ちよ

躊躇なく、迫る危険に即避難を! ~危険を感じる前に避難を~

避難情報が発令されたら、危険を感じる前に即避難をしましょう。(避難の心得を確認したらチェックしましょう)

【避難の心得】

□ 正確な情報を収集しよう



□ 避難時は動きやすい服装で2人以上で行動しよう (避難経路の状況等に注意)



□ 早めに避難しよう



□ いざとなったら崖から離れ、2階以上へ避難するなど屋内で安全を確保しよう



○ 主な防災情報の入手方法

テレビ・ラジオ

テレビのリモコンの「d」ボタンを押すと「データ放送」の画面になり、気象情報をはじめ河川の水位などいろいろな情報を取得できます。(NHK鹿児島放送局の「データ放送」を通じて、ご家庭のテレビで避難所の開設状況もリアルタイムで確認できます)

鹿児島市ホームページ

避難勧告等や避難所の開設、防災行政無線の放送内容などの緊急情報をお知らせします。

◇ <http://www.city.kagoshima.lg.jp/>

鹿児島市防災情報LINE

事前登録したLINEのトーク画面に、避難勧告等や避難所の開設などの緊急情報を通知します。(登録無料)

安心ネットワーク119

事前登録したメールアドレスに、災害情報、防災気象情報、避難情報、防災行政無線の放送内容などをメールで配信します。(登録無料)

◇ 配信の申し込み→ ansin119@kagoshima-fd.jp に空メールを送信

大雨・台風時に鹿児島市から発令される避難情報のポイント

!.....必ず確認してください.....!

災害が発生又は発生するおそれがある場合、鹿児島市は、避難情報を発令し、避難のタイミングをお伝えします。災害時に備えて、各段階でとるべき行動をチェックしましょう。

緊急時に確認

警戒レベル	市民がとるべき行動	避難情報	気象情報
5	命を守る最善の行動	災害発生情報	大雨特別警報等
4	危険な場所から全員避難	避難勧告(避難指示(緊急))	土砂災害警戒情報等
3	危険な場所から高齢者などは避難	避難準備・高齢者等避難開始	大雨・洪水警報等
2	ハザードマップ等で避難方法を確認	—	大雨注意報等
1	最新情報に注意	—	早期注意情報

※「避難勧告等に関するガイドライン」の趣旨を変えずに、より分かりやすい表現にしています。

! 危険な場所からは、警戒レベル3で(高齢者などは避難)、警戒レベル4で(全員避難^{*1})です。

※1 警戒レベル4「全員避難」は、高齢者などに限らず全員が危険な場所から避難するタイミングです。

! 警戒レベル5はすでに災害が発生している状況です。

・警戒レベル5が出てまだ避難できていない場合は、自宅の少しでも安全な部屋に移動したり、すぐ近くに安全な建物があればそこに移動するなど、命を守るための最善の行動をとってください。
・警戒レベル5災害発生情報は、鹿児島市が災害発生を把握できた場合に、可能な範囲で出される情報であり、必ず出される情報ではありません。

! 豪雨時の自宅外避難は危険です。車の移動も控えましょう。

◆ 避難情報の発令が分かりやすくなります

避難情報を、各行政区域(河川流域)の土砂災害警戒区域(洪水浸水想定区域)など危険な場所にいる市民等を対象に発令します。

【発令の地域等】

土砂：行政区域(9地域：中央・谷山・伊敷・吉野・吉田・桜島・喜入・松元・郡山)

洪水：河川流域(稻荷川・甲突川・新川・永田川)



該当する町丁名も確認できます

※土砂災害警戒区域(洪水浸水想定区域)内に該当する町丁名(一部含む)は、市HP、安心ネットワーク119、市防災情報LINEで確認することができます。

(例)＜中央地域＞ ○○町、△△町、□□1丁目～3丁目



! 警戒レベル4には避難勧告や避難指示(緊急)^{*2}がありますが、いずれにしても警戒レベル4で避難しましょう。

・警戒レベル4 避難勧告は自宅外避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令されるもので、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。

※2 警戒レベル4 避難指示(緊急)は、必ず発令されるものではなく、地域の状況に応じて緊急的に又は重ねて避難を促す場合などに発令されることがあるものです。

警戒レベル4 避難勧告で危険な場所から避難です。